

令和5年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：埼玉県

農業委員会名：杉戸町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日
令和
3年
9
月
11
日

任期満了年月日
令和
6年
9
月
10
日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
<div>認定農業者</div>	—	12
<div>認定農業者に準ずる者</div>	—	0
<div>女性</div>	—	1
<div>40代以下</div>	—	0
<div>中立委員</div>	—	2

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	12	12	5

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	697	基幹的農業従事者数	605	認定農業者	116
農業経営体数	504	女性	253	基本構想水準到達者	31
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	26	認定新規就農者	3
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	11
				集落営農経営	0
				特定農業団体	0
				集落営農組織	0
				※農業委員会調べ	

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,170	187				1,360

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	1,360 ha	482.9 ha	35.5 %
課題	農業従事者の高齢化や後継者不足、生産コストの上昇などにより、担い手を確保することが困難な状況となっている。また、小規模な区画について、畦畔撤去などによる区画拡大などの条件整備が必要である。		

- ※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入
※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう
※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和12 年度	集積率	50 %
今年度の新規集積面積	32.53 ha	農地面積(C)	1,360 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	515.43 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	37.9 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	5.9 ha	5.9 ha	0 ha
課題	農業の担い手や後継者不足、不在地主の増加、農産物価格の低下などの要因により、遊休農地の解消が目標通りに進んでいない。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	6.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.2 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	黄区分の遊休農地が発生していないため、工程表の策定は行わない。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.4 ha
---------------------------	--------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者		令和4年度新規参入者	
	1	経営体	1	経営体	0	経営体
	0.4	ha	0.69	ha	0	ha
課題	新規参入をする際、ほ場の確保・起業資金・営農技術・収益性などを満たすことがハードルになっている。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
	9.3	12	7.6	9.6
	ha	ha	ha	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			1.0	ha

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	14	人
			農地利用最適化推進委員の人数	12	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
8月	②遊休農地の解消	遊休農地パトロールを強化し、新たな遊休農地の発生を抑制する。戸別訪問により、貸付希望農地を把握し、担い手への集積をすすめる。	
10月	②遊休農地の解消	戸別訪問や電話により、農地の利用意向を把握し、担い手への集積をすすめる。	
11月	③新規参入の促進	新規参入者希望者と、関係機関と連携し相談等の対応する。	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	6月頃	相談会名	就農相談会
参加者数	1名	開催場所	埼玉県農業大学校
相談会の内容	埼玉県農業大学校の学生の就農支援を図るため、就農相談会へ参加		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)